

電子複写不可

還 還 史 料

雜記録

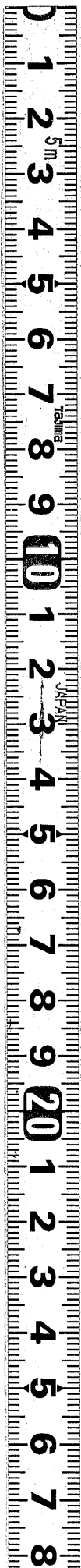
石三五九八部隊

第六十二師團工兵隊
防衛研修所



（雑記録の巻末に
付録）

2600-17



Top 95

(B)

~~Provis~~
#2305

要 則

- 一 挺身奇襲及遊軍に於て、特ニ煤礦ヲ使用スル機會多ク煤礦戰斗ハ
挺身奇襲及遊軍ノ爲ニ重要ナル手段ナリ
 - 二 挺身奇襲及遊軍ニ於テハ屢々峻嶮難地ヲ行進シ或ハ長期ニ亘リ
潜伏スルコトヲ煤礦資材ノ携行法ノ形取携行具等ニ工夫ヲ凝シ
又防護及防護ニ細心ヲ注意ヲ拂フヲ要ス
 - 三 挺身奇襲及遊軍部隊ハ適時補給ヲ了期シ得タルコトヲ以テ之ヲ
状況ヲ對シ萬難ヲ排シ成入ルコトヲ量シ煤礦資材具等ヲ携行スル
共ニ現地物資及函獲物ノ利用ニ悉ムルコトヲ緊要ナリ
- 備
- 四 資材準備ノ任務 編成地形潜行(伏)期間ニ應ジ置ルニ至
トシテ攻襲目標ニ應ジテ資材ノ携行及行動ヲ便ナラシムル爲メ資材
ノ携行ニ關シテ之ヲ設置トス

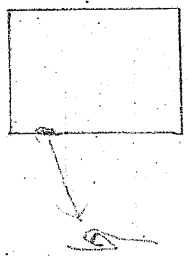
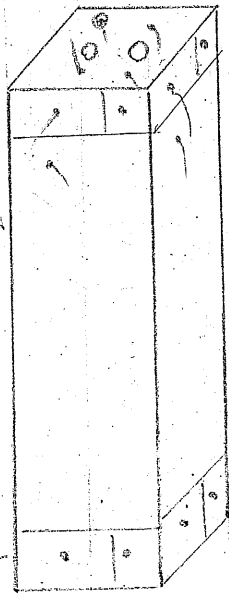
Top 95

(納庫富・販大)

*271 → WDC # 71769

完成

此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス
此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス
此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス
此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス
此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス
此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス
此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス
此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス



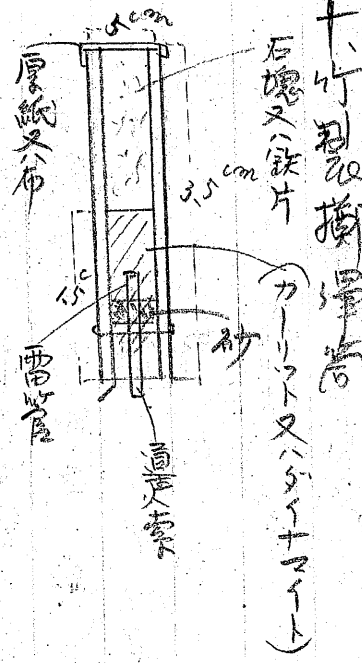
(注) フリキノ代用トシ木ニスルヲ
此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス
此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス
此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス
此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス
此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス
此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス
此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス
此蓋は蓋に蓋ト出体トシて爲し得るハ紙蓋トシて爲すとス

八、直火具ト爆薬並トハ分斷シテ扱行ハ攻撃準備 位置ニ在リ
之ヲ北衣著スルヲ可トス
九、梱包爆薬
梱包爆薬ハ一(三)ノヲ適當トシ要スルハ火具ヲ分斷シテ扱行ス
梱包爆薬ハ自動貨車 飛行機ノ初体砲身ノ外部ヲ破壊ス
ルニ用テ攻撃法ニ依リ手提振樹式又ハ柄付トス攻撃直前ニ
急造一炸爆薬並ト四個ヲ以テ四炸振樹梱包爆薬ヲ制込作スル
要領一例九ノ如シ

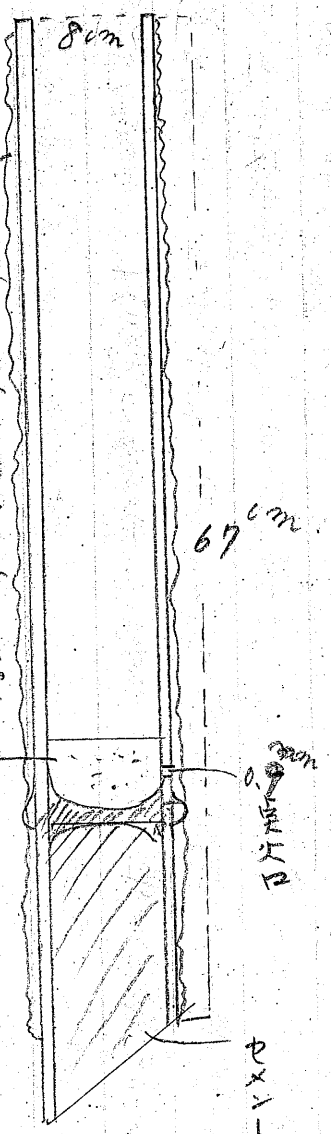
	銅長サ (0.2-2.0m) 目録ノ指 決定ス
	銅長サ (0.2-2.0m) 目録ノ指 決定ス
	銅長サ (0.2-2.0m) 目録ノ指 決定ス
	銅長サ (0.2-2.0m) 目録ノ指 決定ス
	銅長サ (0.2-2.0m) 目録ノ指 決定ス
	銅長サ (0.2-2.0m) 目録ノ指 決定ス
	銅長サ (0.2-2.0m) 目録ノ指 決定ス
	銅長サ (0.2-2.0m) 目録ノ指 決定ス
	銅長サ (0.2-2.0m) 目録ノ指 決定ス
	銅長サ (0.2-2.0m) 目録ノ指 決定ス

十、竹製振盪筒

爲し得るハ布製、砂嚢ヲ捲行シテ通呼土又ハ砂ヲ噴突ス



- ナイフ 一〇〇子
- 小粒葉 一五子
- 雷管 四握
- 工業用雷管 一本
- 九七式雷管 一本
- 真火雷管 一本



十一、構造及用途

雷管又ハ鉄線ヲ密接シテ捲

小粒葉一五子

竹製振盪筒ハ竹ヲ以テ製作セル筒ニ抛射葉ヲ捲入シ筒内ニ充テ
 稍小ナル徑ヲ以テ製作セル筒ヲ投射レテハ馬ヲ殺傷ス彈ハカーリット
 ナイフ又ハ黄色葉ヲ捲置テ頭部ニ石塊又ハ鉄片ヲ封入ス
 本機ハ遊東就中地方民ヲ以テモニニ捲置テ謀略的ニ使用レテ
 價值大ナル

十二、製作要領

一、筒ノ製作ハ第一圖其ノ如ク竹ノ端節ノ外側ニセメントモルタル
 ヲ噴塞シ其ノ上方ニ側ニ鉄線ヲ纏ヒ筒ノ外側ニ
 ハ葉又ハ鉄線ヲ密接ス 筒ノ重量ハ二ニ五斤ナリ
 又、筒ノ製作ハ其ノ如ク筒内ニ充テ稍小ナル筒ノ底部ニカーリット
 ナイフ又ハ黄色葉ヲ捲置シテ炸薬トシ其ノ上方ニ石塊
 又ハ鉄片ヲ封入シ厚紙又ハ布ヲ以テ被包ス筒底ニ真火具(真
 火索)ヲ捲入シ且ハライント砂ト混合物ヲ噴塞シテ腔蓋ヲ
 防止ス

彈ノ重量ハ五〇〇子一六〇子ナリ彈ハ拋射機ノ真火ニテ一母火蓋子ニ着火ス

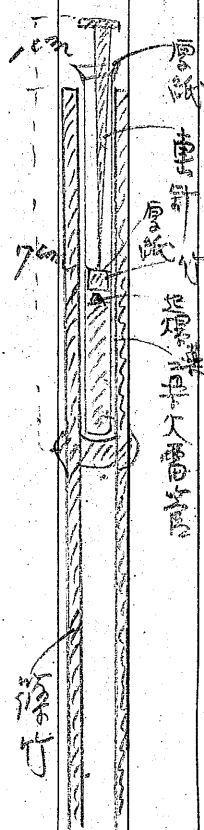
3. 筒ノ真火口ヲ上面ニ向ケ概ネ四十五度ニ地中ニ埋込ニ拋射機ノ(黒色蓋子)ヲ少量(一五子)筒口ヲ注込シタル后彈ヲ筒口ヲ閉カニ挿入ス此際彈底部ノ被包紙ヲ除去ス次テ真火口ニ導火索(長サ三履)ヲ挿入シ真火技擲ス
抵抗力 黄色蓋子(一五子)ニテ一〇〇子ニテ六〇米投擲シ人馬ヲ殺傷ス

十三、爆子ノ構造及用途

爆子ノ筒ノ頭部ニ導火索管ヲ挿入シ真火具ヲ設置シテ
拋射シテ人馬ヲ殺傷ス本機ハ挺身奇襲遊軍就中地方民ヲ以テスルモノニ設備シテ價値大十ニハシ
十四、製法及用途ノ要領左ノ如シ

一、導火索設置

導火索管ニ其ノ端ヲ稍ニ小ナル長サ一履ノ竹ヲ挿入シテ頭部ニ厚紙ヲ貼布ス其端ヲシヤクシテ附セル四枚鉄棒ノ真針ヲ戴セ管部ノ厚紙ニテ保持ス
又長サ約一米内徑八耗ノ篠竹ニ前頭ノ設置ヲ施シ他端ニ矢羽ヲ附ス
重量ハ約七〇子



3. 使用直前矢端ニ真針ヲ裝メテ筒ノ口ニテ爆子ヲ挿入シ効力左ノ如シ

十五、爆子ノ構造及用途

射距離約七〇米ニテ命中セル兵員ニ對シ死傷ヲ与フ

(納崎宮・阪大)

形角	筒円	形	大	七	十八
		形一	形二	形三	桶
1	26	1	52	1	
1.100	0.975	2.150	1.950	4.950	4.950
2.5	30	16.5	16.5		
					桶
					要

十八使用上の注意は如し

一、吸湿性が高いヲ以テ使用前莫検ヲ周密ニシ若シ湿度高ヲ吸收シアルモノハ試験爆破ヲ行フ

二、輕微ノ吸湿ニ依リ稍硬化セルモノハ包裝紙ノ上ヨリ揉ミテ使用ス

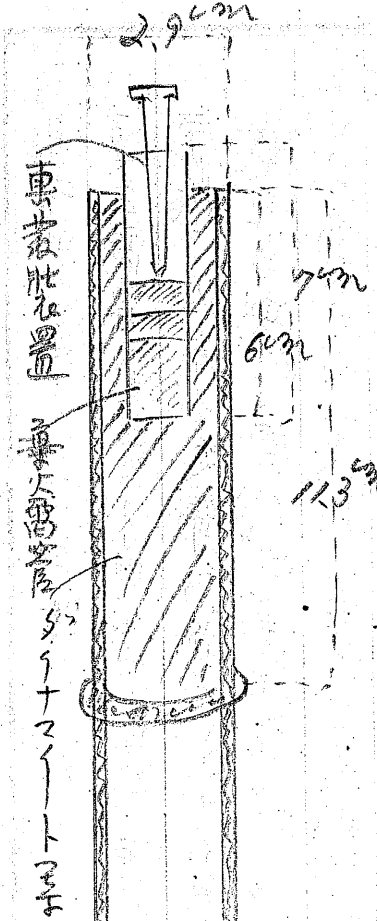
三、被包ノ邊使用スルヲ通常トス但シ種類及目的ニ依リ被包ヨリ取出シ粉狀ニテ使用ス時ハ特ニ所選ヲ定ム

大外部装置ニシテ場合ニ於テハ黃色藥ノ的ニ至ルモノハ黄藥トシテ使用ス

桶

桶蓋ノ開口トシテ中ニモニ粘長サ一ミ長サ一ミニシテ蓋ニシテ蓋ノ内ヨリ取出ス

(納崎宮・阪大)



竹筒ニ内形黃色藥又ハ應用燐藥ヲ装入シ刺突ニ依リ兵員ヲ殺傷スルモノニシテ遊車據点等ノ自衛地帯民ヲ以テ遊車隊ノ裝備ニシテ備ス

大製作及使用前ノ要領は如し

一、内徑ニ九種前述ノ長サ一ニシテ全長ニ米ノ竹筒ノ頭部ニ内形黃色藥(カ)ノ寸法ニ依リハカーリフ上(カ)ヲ填塞ス

二、車蓋ノ内筒ヲ接続シ(燐藥)ト同様ノ車蓋装置ヲ裝入ス(重量約一kg)

三、使用直前車蓋ヲ取リノ敵ニ近接シテ刺突殺傷ス

二十六 梱包ノ要領

「カーリット」ノ内形甚自ニ準ニ梱包ス
 硝子燻蒸ノ梱包

硝子燻蒸ノ黄色甚自ニ対スルニ月モニ之倍ノ甚自量ヲ要シカーリットニ
 ニ添テ梱包ス

黒色甚自ノ梱包

ニ由テ使用上ノ注意ト如シ

・黒色甚自ノ通常ノ葉筒ニ葉筒ニ葉筒トテ土壇ノ爆破(対入地雷)

及放舟葉筒ニ用テ但シ鉄材ノ爆破ニ適セズ

・火葉筒ノ用用及葉筒ノ製作ニ本銅又ハ青銅製ノ器具ヲ

用ニ操作ヲ行ハス鉄製器ヲ使用スハカラス

・葉粒ヲ箱外ニ漏ラササル如ク又他物トノ衝突激シキ動搖

及摩擦ヲ嚴ニ戒ム

・他ノ燻蒸ト混合シテ使用セズ他ノ燻蒸ノ燻蒸力ニ依リ

黒色甚自ノ部 飛散シテ無効トナラズナリ

ハ一ノ分量ノ約ハ五分トス

ニテ五梱包ノ要領ト如シ

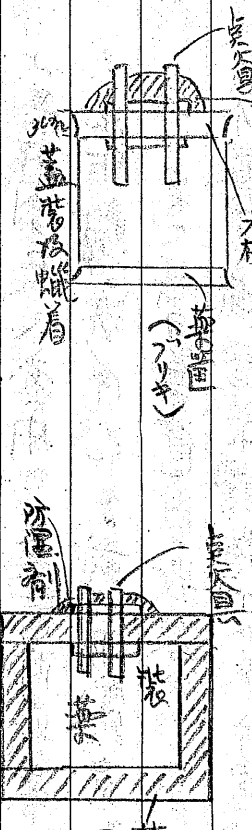
・黒色甚自ノ通常ノ葉筒或ハ葉筒ニ収容シテ使用ス

葉筒ノ厚紙防水紙防水布等ニテ作り葉筒ハ丸筒ニテス如ク

製作ス但シ甚自量大ナル葉筒ハ通常黒色甚自ノ収容ヲ利用ス

ニ莫大具ヲ装着スルニ葉筒ノ黒色甚自ノ略中央ニ挿入ス但シ

雷管ナキ場合葉筒ノ長クハ燻蒸ノ挿入スルニテス



・莫大具ヲ装着スルニハ蓋ノ表面
 向テニ木片ヲ装着シ以テ葉筒
 蓋ノ隙間ヲ防ギトシテ葉筒
 蓋ノ隙間ヲ防ギトシテ葉筒
 蓋ノ隙間ヲ防ギトシテ葉筒
 蓋ノ隙間ヲ防ギトシテ葉筒

硝子燻蒸ノ部ニモニ収容ス本製
 葉筒ノ厚紙防水紙防水布等
 硝子燻蒸部ノ内際ヲ防漏劑
 硝子燻蒸

(納備宮・版六)

防湿ノ要領

1. 短時間ノ爲ニ防水紙(防水布)ヲ以テ包ム
 2. 長時間ノ爲ニ密閉ニ其内ニ收容ス
 3. 遠距離ニ携行スルニ或ハ雨露多キ地方湿潤地帯ヲ行カスル
 時ハ臭気具ヲ葉内ニ收容ス
 4. 防湿材ハ蠟 瀝青 樹脂 石油 液 防湿材料 其他防湿ニ有効ナル
 現地物量ヲ用フ

三六 應用爆薬寸度及重量表

品名	寸度及重量		一箱本数
	寸度	重量	
櫻	5'x2'x1'	2.0~9.0x45	500本
新櫻	5'x2'x1'	2.8~9.0x43	200本
特桐	5'x2'x1'	2.5~9.0x75	300本
桐	5'x2'x1'	2.8~10.0x115	200本
新桐	5'x2'x1'	2.2~9.0x125	200本
各梅	5'x2'x1'	2.8~9.0x145	200本
一号萩	5'x2'x1'	2.8~9.0x145	200本
二号萩	5'x2'x1'	3.0~12.5x250	90本
石有	5'x2'x1'	2.5~16.5x75	300本
一号硝安	硝安	2.8~16.5x50	150本
二号硝安	硝安	3.2~10.5x75	300本
アンモ	硝安	3.2~20.0x150	150本
黒扇	カ-1'x7'	2.0~11.5x375	600本
紫扇	カ-1'x7'	2.5~11.0x560	400本
樺扇	カ-1'x7'	3.0~20.3x150	150本
蕙扇	カ-1'x7'	3.5~22.4x225	100本
特藍	カ-1'x7'	4.0~23.0x125	
		4.0~18.0x225	
藍	カ-1'x7'	内型 2.2~11.250	2

三七 爆薬ニ対スル適合火具ノ表

爆薬種類	適合火具	適用火具	摘要
黄色爆薬	九七式 雷管	九七式 雷管	九七式雷管ニ適合スル爆薬ニ対スルニ適用ス
カーリソート	工業用 雷管	工業用 雷管	工業用雷管ニ適合スル爆薬ニ対スルニ適用ス
クイナソート	同	同	同
硝子爆薬	同	同	同
黒色爆薬	雷管(雷管) 雷管(雷管)	同	同
備考	適用火具ヲ起爆薬ニ適合スル場合ニ適用ス	適用火具ニ適合スル場合ニ適用ス	適用火具ニ適合スル場合ニ適用ス

資材ノ携行

三六 爆破資材携行ニ関シテ注意スルべき事項 概テ如シ
 一 爆薬ノ完全ニ防水ナルニ及ビ相包ヲ各人適量ノ数ヲ携行シ目標
 二 状態ノ應ニ適量ノ資材ヲ携行シテ所望ノ量ヲ得トス可トス

爆トテ相包ニトテ其自ノ儘掛ク行ニトテ
 又火具ハ成ルル雷管ヲ其ノ火具ノ区分毎ニ各ノ適宜ノ数ヲ掛ク
 改車準備並置等ニテ結構ヲ堅クシテ火具ヲ掛ク
 スラ可トスルコトアリ此ノ際其ノ火具ノ火部及雷管トノ接合部
 特ニ防護ヲ要ス余金ニ又暑熱ノ爲メ其ノ火具被包ノ防護劑ガ浸潤
 ニテ雷管ノ起爆ヲ接合部ヨリ阻害セテ不慮ノ火具ノ漏洩ヲ防止ス
 3. 行動時降雨時等ニテ火具ノ起爆ヲ防止ス
 4. 行動時爆薬火具ニ付着シ不慮ノ起爆ヲ防止ス
 5. 難地等ノ通過ニテ火具ノ起爆ヲ防止ス
 6. 火具ノ起爆ニ付シテ火具ノ起爆ニ付シテ火具ノ起爆ヲ防止ス
 7. 潜行時等ニテ火具ノ起爆ヲ防止ス
 8. 潜行時等ニテ火具ノ起爆ヲ防止ス
 9. 潜行時等ニテ火具ノ起爆ヲ防止ス
 10. 潜行時等ニテ火具ノ起爆ヲ防止ス
 各種目標ニ対スル改車要領一列

2. 戦車或ハ飛行機ノ内部又ハ底板下部特ニ其内部
 砲腔内等ノ外周用雷管ニ比シテ其威力ノ大ナリ
 3. 戦車等ノ其威力ヲ増大スル爲メ爆破スルモノヲ密着セシメ
 且メ其ノ起爆ニ付シテ其威力ノ大ナリ
 4. 戦車等ノ其威力ヲ増大スル爲メ爆破スルモノヲ密着セシメ
 且メ其ノ起爆ニ付シテ其威力ノ大ナリ
 5. 戦車等ノ其威力ヲ増大スル爲メ爆破スルモノヲ密着セシメ
 且メ其ノ起爆ニ付シテ其威力ノ大ナリ
 6. 戦車等ノ其威力ヲ増大スル爲メ爆破スルモノヲ密着セシメ
 且メ其ノ起爆ニ付シテ其威力ノ大ナリ
 7. 戦車等ノ其威力ヲ増大スル爲メ爆破スルモノヲ密着セシメ
 且メ其ノ起爆ニ付シテ其威力ノ大ナリ
 8. 戦車等ノ其威力ヲ増大スル爲メ爆破スルモノヲ密着セシメ
 且メ其ノ起爆ニ付シテ其威力ノ大ナリ
 9. 戦車等ノ其威力ヲ増大スル爲メ爆破スルモノヲ密着セシメ
 且メ其ノ起爆ニ付シテ其威力ノ大ナリ
 10. 戦車等ノ其威力ヲ増大スル爲メ爆破スルモノヲ密着セシメ
 且メ其ノ起爆ニ付シテ其威力ノ大ナリ

